

家庭系廃食用油を活用した、持続可能な航空燃料の導入促進に向けたサプライチェーン構築事業

(代表申請者) 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

(連携事業者) 株式会社イトーヨーカ堂・ENEOS株式会社・株式会社野村事務所・株式会社三井住友銀行・
三井不動産レジデンシャル株式会社・株式会社吉川油脂

■事業の概要

【事業目的】

- 千葉県内で現在捨てられている家庭系廃食用油を回収し（①イトーヨーカ堂（含むヨークマート）・セブン-イレブン・ジャパンによる店舗での回収、②三井不動産レジデンシャルによる大型マンションでの回収を想定）、回収した廃食用油を廃油リサイクラー（吉川油脂）に引き渡す。将来的には廃食用油を原料としてSAFを製造し、成田国際空港に供給するまでのサプライチェーンを構築することを目指す。
- 資源循環（現在捨てられている資源を少しでも活用する）・地域貢献（アジアのHUB空港としての成田国際空港を国際社会にアピールする）・将来世代（将来世代が住みやすい地球を残すために、各社の知見を集結しチャレンジする）の理念のもと、自治体の支援を得ながら家庭系廃食用油の資源循環モデルを構築し、持続可能な航空燃料の導入促進に向けたサプライチェーンを構築する。

【事業内容】

- 千葉県内で現在捨てられている家庭系廃食用油を小売店舗及び大型マンションで回収する。
- 小売店舗及び大型マンションで回収した家庭系廃食用油を運搬リサイクルし、SAF製造業者に引き渡す。
- 千葉県における家庭系廃食用油の資源循環モデル構築及びSAFの導入促進による成田国際空港の競争力強化を通じた地域貢献に向けた広報及び普及啓発活動

【期待される効果】

- 現在ゴミとして捨てられている家庭系廃食用油を有価物として回収し、SAFにすることで、千葉県内のゴミ削減・資源循環の拡大が見込める。
- 千葉県内の小売店舗、大型マンション等での家庭系廃食用油を回収することで、県民に対して廃食用油のSAFへの資源循環の取組を周知し、脱炭素分野における個人の行動変容につながるが見込める。
- SAF導入促進の取組により、成田空港をアジアのHUB空港として国際社会にアピールする効果が期待できる。また、日本としての空港競争力強化に向けて、本取組を「千葉モデル」として他都道府県にも横展開することが期待できる。